



新年度のスタートにあたって

◆ 4月は新しいスタートのとき

4月6日に晴れて240名の新入生が入学し、新たな吉田高校がスタートしました。1年生のみなさん、ご入学誠にありがとうございます。そして、ようこそ長野吉田高校へ。また、2年生もクラス替えを行い、1年生同様に期待と不安が入り混じった気持ちですね。さらに3年生は最終学年の重圧や、多くの生徒にとっての関門となる大学入試に対する闘志も沸いていることでしょう。

新型コロナの発生から2年以上経過し、この間学校生活に多くの制約が課されています。しかし、昨年は感染症対策を講じた上で本校の文化祭は行うことができました。with コロナの時代に合わせながら、少しずつですが学校生活を取り戻しつつあります。オミクロン変異株の出現などで今なお先行きが不透明ですが、各自が正しい知識を持ち、いま心に抱いている前向きな気持ちを大切に、冷静に高校生活をスタートさせましょう。

◆ 高等学校で学ぶ意義

ロシア軍によるウクライナへの大規模侵攻から1ヶ月以上が経過しました。20世紀最大の物理学者であるアインシュタインは“Peace cannot be kept by force; it can only be achieved by understanding. (平和は力では保たれない。平和はただ分かりあうことで、達成できるのだ。)”という言葉を残しています。

21世紀の日本・世界・地球が直面している課題は、持続可能な共生社会の実現です。国際社会をつくるものは物理的な力ではなく“知による力”です。日々の授業で人類の叡智を吸収し、教養を身に付け知性を磨いてください。そして高校の先にある高度な学びを熱望しましょう。これから皆さんが、自身の生きる術と課題の解決法を得るために、主体的に、そして謙虚に学ぶことを願います。

また現在、高校は成人を控えた最後の学びの場でもあります。この4月から民法の成年年齢が18歳となり、親の同意を得ずとも自分の意志で様々な契約や決定が可能となります。高校卒業までには誰もが主権者となり、独立した成人となることを自覚して学びましょう。

◆ 「1年目には種をまき、2年目には水をやり、3年目には花を咲かせましょう」

—野村克也（日本の元プロ野球選手・監督：1935～2020）

これからの1年間、私たち進路指導係はこれまで以上に、皆さんの進路希望を実現するための有益な情報提供や進路指導に努めていきます。しかし、進路実現の原動力は皆さん自身の「日々の学習を積み重ねた確かな学力」と「積極的で主体的な行動」に他なりません。自己実現のために、学校を最大限利用してください。ともに力を合わせて頑張ってください。

なお、この「長野吉田高校進路室だより」は、3年生版は適時に、1・2年生版は月1回を目標に発行する予定です。配布した際には必ず目を通し、ご家庭にも届けてください。

令和3年度卒業生合格状況(全日制)

1. 進路決定者(実数)

2022/3/31現在

	四年制大学	短期大学	専門学校・その他	進学準備	就職	自営	卒業生数
男子	94	0	1	19	2	0	115
女子	131	4	5	13	2	0	156
合計	225	4	6	32	4	0	271
	※専門学校・短期大学含む			※文科省管轄外大学校含む			

2. 合格先(延べ数)

国公立大学 123名

秋田1 宇都宮2 群馬4 埼玉4 横浜国立1 千葉7 新潟2 上越教育5
 山梨1 富山13 金沢4 信州26 静岡3 愛知教育1 大阪1
 公立ほこだて未来1 茨城県立医療1 横浜市立2 東京都立1 埼玉県立1 新潟県立1 長岡造形3 山梨県立3
 群馬県立女子1 高崎経済8 前橋工科2 長野県立7 長野7 長野県看護1 公立諏訪東京理科1 静岡県立1
 石川県立1 福井県立1 愛知県立1 滋賀県立1 福知山公立1 神戸市外国語1 福山市立1

私立大学 441名

つくば国際1 亜細亜3 愛知1 愛知学院4 愛知工業1 愛知淑徳1 杏林8 鎌倉女子1
 関西外国語1 関西学院1 関東学院4 岐阜医療科学2 岐阜聖徳学園3 京都橘1 京都産業1 共愛学園前橋国際2
 共栄1 共立女子2 玉川2 近畿1 金城1 金城学院3 金沢医科1 金沢学院4
 金沢工業10 金沢星稜2 駒沢女子4 駒澤11 群馬パース2 健康科学1 高崎健康福祉8 国際医療福祉2
 国士館4 国立音楽1 佐久3 埼玉医科3 桜美林1 産業能率2 四天王寺1 秀明1
 淑徳1 駿河台1 順天堂5 女子栄養1 昭和1 松本16 上武1 常葉1
 新潟医療福祉7 新潟工科1 新潟薬科1 神戸国際1 神田外語5 神奈川27 神奈川工科3 成城5
 成蹊2 清泉女学院15 跡見学園女子3 千葉科学1 千葉工業2 専修14 大阪音楽1 大阪芸術1
 大正1 大東文化16 大和1 拓殖2 中京8 中部5 長野保健医療16 津田塾3
 帝京4 帝京平成3 東海12 東海学院1 東京家政1 東京家政学院1 東京経済4 東京工芸1
 東京国際1 東京女子2 東京女子体育1 東京電機1 東京農業2 東京薬科1 東都1 東北芸術工科2
 東北工業1 東洋35 東洋英和女学院1 同志社1 同志社女子1 南山2 日本7 日本医療科学4
 日本女子2 日本保健医療1 武蔵2 武蔵野1 文教7 法政11 北海道情報1 北里3
 北陸1 麻布2 名古屋学院3 名城3 明治5 明治学院3 明星4 目白1
 立教2 立正2 立命館1 流通科学2 龍谷3 了徳寺1 鈴鹿1 國學院6
 獨協8

文部科学省所轄外大学校 1名

防衛大学校1

専門学校 1名

芸術文化観光専門職1

公立短期大学 1名

大月短大1

私立短期大学 6名

埼玉女子短大1 清泉女学院短大2 上智大短大部1
 上田女子短大1 関西外国語大学短期大学部1

専門・専修学校 8名

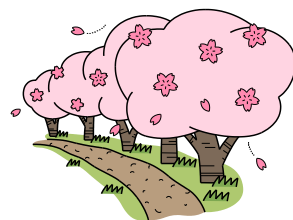
須坂看護専門学校1 資生堂美容技術専門学校1 東京ビジュアルアーツ1 東京電子専門学校1
 東京デザイナー学院1 長野理容美容1 東京総合美容専門学校1 東海医療技術専門学校1

公務員 4名

長野市職員1 長野県職員1 国家公務員税務職2

旅立ちに向けた1年間

来年1月14日（土）15日（日）には大学入学共通テストが実施されます。昨年度の共通テストは難化が顕著に見られ、一昨年に比べて大幅に平均点がダウンしましたが、本校卒業生は奮闘し、素晴らしい結果を残して本校を巣立って行きました。今年度初回となる来週土曜日に予定されている全統共通マーク模試も、午後7時近くまでの長丁場です。志望校の合格に必要なのは、学力だけではありません。気力と体力がともに不可欠です。誰にとってもつらく苦しい大学受験とは、やはり高校生のような心技体に充実した年頃だからこそ乗り越えられる試練であり、君たちを大きく成長させることでしょう。



◆本校の精神は「晴耕雨読」、君の人生にとってこの1年間の意義は何か

文武両道は本校のモットーですが、生徒がその本分である学習を生活の根幹として、班活動ほか様々な活動に努力すべきこと、そうして心技体にバランスよく成長するべきことは自明です。この先の上級学校合格や就職内定までには、これら高校生活を通じて培った総合的な力が試されていくこととなります。

一方、本校の精神は、校歌にもあるようにあくまでも『晴耕雨読』です。「時に応じ、やるべきことに懸命に取り組む」との言葉は、とても文化的で素敵です。皆さんにとってこの1年間は、旅立ちに向けて最大限の努力をする時に他なりません。そしてまた、この密度の濃い1年間が皆さんをさらに鍛え、未知の可能性を引き出し、新たなステージへと引き上げてくれるはずです。

◆忙しい時ほど授業を大切にす

学校生活の大半は授業であり、3年生では内容が徐々に入試向けになります。だからこそ、一番効率の良い勉強方法は授業を中心に据えて集中することです。これまでの入試でも、授業をないがしろにしていた先輩は結果を出していません。また、1学期は班活、暁峰祭と多忙を極めますが、そういう時こそ、授業のポイントはその日のうちに覚えてしまうつもりで、毎日の予習・復習や課題テストの準備を家庭学習の中心に据えることです。何とか学習に食らいついているという実感が持て、学習にリズムが生まれます。もちろん、時間と体力に余裕のある人は、その限りではありません。現在、通常に近いかたちで学校生活をスタートできていますので、毎日の授業を一時間一時間大切にしましょう。

◆基本的な生活習慣の確立（遅刻・欠席、提出期限、生活のきまり）

新年度のスタートにあたり、まず留意してほしいことを述べます。学校生活では、朝、気持ちよくスタートできるかが大切です。今年の授業はすべて講座別で行われ、遅刻・欠課は授業に向かうムードを損ないます。また、それらが重なると友人や周囲に心配をかけます。自分の行動が周囲に影響を及ぼしていることを察する想像力を持ちましょう。社会に出ると、約束を守らない人間は信用されません。「ルール」を守る習慣は“あなたにとって”得策なのです。この1年間は、高校卒業後にも通用する生活態度を求めていきます。自己の健康管理に責任を持ち、挨拶・清掃・頭髮など「生活のきまり」は徹底してください。

◆大会、暁峰祭で力を出し切る

最終学年としてのポイントは、最後の大会、暁峰祭で、今まで培ってきた力を存分に発揮し、楽しむこと、そして喜びや悲しみを仲間と分かち合うことです。持てる力とエネルギーを完全に燃焼させてこそ、次のステップにスムーズに進んでいくことができます。試合の勝敗や発表の出来・不出来ではなく、自分の持てるものを全てぶつけたという実感と、それに伴う感動を経験し共有することです。そういう経験をした人は、その後の学習や受験でも、持てるものを全てぶつける努力をし、全力が尽くせるはずです。

◆仲間の存在を忘れない

これから入試まで、いろいろな壁にぶつかるでしょう。そのとき忘れてはいけないのは、自分一人だけが悩んでいるのではないということです。周りにいる吉田高校の仲間が皆同じ不安を抱えながら頑張っていることを思い出してください。入試は団体戦であり、3年生全体が大きな1つのチームなのです。目標は違っても、助け合っていくのがチームメートです。真剣に努力すればするほど悩みや不安が出てくるものです、でも悲しく苦しいのは君だけではありません。同じ班活の仲間、クラスの仲間、授業・講座の仲間とお互いに支え合い、全員で前に進んで行く気持ちを持ちましょう。

◆途中で戦いをやめてはいけない、最後まで粘り抜く

今年はたくさんの模試を受けることとなります。模試では合否判定が出ますが、その結果に過剰に反応し、安易に志望をあきらめたりしてはいけません。もちろん、最終的に出願校を決める際には、夢みたいな志望はあきらめなければならないかもしれませんが、でも、その時期が来るまでは、可能性を信じて、夢みたいな願望を現実味のある志望とするために粘ることが不可欠です。皆さんは、一人で戦っているのではない。仲間も家族も先生方も共に戦っています。あなただけの勝手な途中下車はいけません。「受験は団体戦」という言葉は、最後の受験を終えた誰もが実感するものです。

◆卒業生の活躍を勇気に変えて

過去5年間の国公立大学合格者数は134名→106名→122名→140名→123名であり、後輩の皆さんに大きな勇気を与えてくれます。共通点は、多くの3年生が放課後はもちろん、土曜日でも日曜日でも学習を続け、先生方と合格に向けて努力していたことです。また、そんな先輩たちでも皆、くじけそうになる自分を鼓舞し、最後まで頑張った結果なのです。最後の模試までD判定でも、本番で合格を勝ち取った人は一人や二人ではありません。

皆さんにも、きっと出来ます。そう信じています!

2022年度 進路指導室 座席配置表

